

チームワークを武器に 三島西中柔道部が全国大会へ



三島西中学校柔道部が、5月に行われた中国・四国少年柔道大会で団体5位の成績を収め、全国大会への出場を決めました。

6月20日に篠原市長を表敬訪問した同部の植木聖恩主将（3年・写真中央）は「小さな頃から一緒に柔道を続けるチームワークで優勝を目指します」と意気込みを伝えました。篠原市長は「精進を重ね、向上心を持ち頑張ってもらいたい」と激励しました。

2年生2人が勢いをつけて、3年生3人が着実に勝利する戦法が実を結び、勢いに乗った5人。全国大会は、9月に東京武道館で開催されます。

得意技は右フック！ ボクシング競技で全国大会出場



川之江高校3年の石川凛太郎さんが、6月に行われた県総体で優勝し、全国大会への出場を決めました。

6月26日に篠原市長を表敬訪問した石川さんは「得意技は利き腕を生かしたサウスポースタイルから繰り出す右フックです。全国ではベスト8を目指して頑張ります」と意気込みを伝えました。篠原市長は「気後れすることなく、必ず勝つという強い気持ちを持って、試合に臨んでください」と鼓舞しました。

全国大会は7月に北海道で開催されます。北の大地へ熱い応援を届けましょう。



三島川之江港港運協議会が 三島川之江港整備要望書を提出

6月30日、三島川之江港港運協議会（石川裕介会長・写真右から3番目）が篠原市長に輸送能力向上のための港湾施設の整備を求める要望書を提出しました。石川会長は「円滑な港湾整備のために協力をお願いしたい」と伝えました。

篠原市長は、「港湾荷役の向上を目指し、みなさんと思いを一つにして、県や国に要望したい」と整備の進展に向けた考えを示しました。



プラカードに続き行進を始める豊岡保育園の園児たち

4年ぶりの啓発パレード 社会を明るくする運動始まる

安全で安心な社会の実現を目指す「社会を明るくする運動」が始まりました。7月3日には、4年ぶりにパレードを実施。更生保護に取り組み団体など200人が集まり、プラカードや横断幕を掲げながら、犯罪のない明るいまちづくりを啓発しました。

強調月間の7月には、街宣広報や街頭啓発、横断幕の設置や川之江のイエローライトアップなどで、広く周知啓発を図りました。



フルーレ、エペ、サーブル各種目での勝利へ一致団結

強豪校のプライド 三島高校フェンシング部全国へ

7月4日に、全国大会出場を決めた三島高校フェンシング部の10人が、篠原市長を表敬訪問しました。男女ともに複数種目で全国への切符を手にした同部。男子が団体で優勝し連覇を14に伸ばしました。井原悠斗主将（写真前列左から3番目）は「3年間の練習の成果を出したい」と話しました。篠原市長は「持てる力を存分に発揮して、悔いのない試合を」と鼓舞しました。

誰ひとりの手も離さない地域医療を 優良看護職員厚生労働大臣表彰 受賞

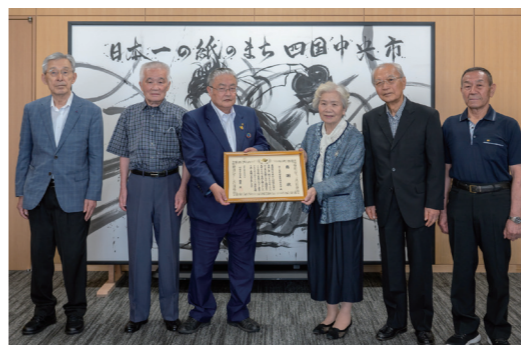


HITO病院（上分町）の田淵典子副院長が、長年の看護業務への献身と、顕著な功績が認められ「優良看護職員厚生労働大臣表彰」を受賞しました。

田淵副院長は「常に患者さんに寄り添い、病だけでなく人を診ることを大切にしている。この表彰は評価というよりも、今後に向けた期待と考えている。病院内だけでなく、医療・介護・福祉の連携で支える地域完結型の医療を目指したい」と決意を新たにしていました。

高齢でも生き生きと暮らせるまちのために「誰ひとりの手も離さない」と、日々看護と真摯に向き合う姿が輝いています。

まちを思う心に感謝 旧三島町財産管理委員会へ感謝状



旧三島町財産管理委員会（三谷つぎむ会長）から、三島公民館に調理台とガス炊飯器などが寄附されました。

7月6日に行われた感謝状贈呈式には、5人の委員が出席。篠原市長が「調理実習や子ども食堂で利用が増える中、寄附をいただき大変ありがたい」と感謝の言葉を伝えました。

三谷会長は、各団体が利用する公民館の状況を説明しながら「まちのみなさんがよく使うものを充実させよう」と話し合った。少しでも地域の役に立てばうれしい」と笑顔で話しました。「地域のために」協議を重ねた今回の寄附。将来へ続く大切なまちの財産となりました。



子育て世代に新たな選択肢を 市役所で「こども連れ出勤制度」を試験的に実施

市役所では、子育てしやすい職場環境を目指して、子ども連れでの勤務が可能な「こども連れ出勤制度」を試験的に始めました。現在、この制度を夏休み期間に合わせて試験実施しており、対象は0歳から小学校3年生です。利用する場合は、それぞれが必要なものを持参し、職場内から伊トオフィスで、業務をしながら子どもと過ごしています。開始にあたり市の人事課では、子育て中の職員を応援するため、子育てしながら働く職員の一つの選択肢として利用してほしいと、職員に呼びかけました。ベビーファースト運動に参画する本市は、親子が暮らしやすいまちづくりに取り組み、子育て・子育て支援都市を目指します。



愛媛をもっと元気に 「知事とみんなの愛顔でトーク」開催

中村時広知事と地域で頑張る人たちが意見を交換する「知事とみんなの愛顔でトーク」が、6月20日に金生公民館で開催されました。今回は、本市や新居浜市、西条市から10人が参加。参加者は、それぞれの活動の中で生まれた疑問や提案などを知事に伝え、知事はその一つひとつに丁寧に対応していました。開催地である本市

からは4人が参加。基幹産業である紙関連産業の存続に向けた支援や、書道パフォーマンス甲子園の更なる発展への協力、外国人労働者が生活しやすいまちづくりなどを知事に求めました。新宮茶の普及に取り組み石川安代さん（写真前列左から2番目）は「県民で良かったと思えるひとときでした」と充実感をみせていました。



教育行政の力に 教育委員会委員2人を任命



見山初美 委員 星川光代 委員

7月3日、市教育委員会委員の辞令交付式が行われました。任命を受けたのは見山初美委員と星川光代委員の2人です。

長年にわたり、就学前教育に携わる新任の見山委員は「経験を活かし育成の一助になるよう真摯に務めたい」と抱負を述べました。再任となる星川委員は「保護者の立場から幅広く意見を集めて、子どもたちが過ごしやすい学校にしたい」と気持ちを新たに意気込みを示しました。

篠原市長は「みんなが楽しいと思える教育のために頑張ってもらいたい」と、教育行政を支える委員に期待の言葉をかけました。



待ち望んだ憩いのひととき 嶺南あじさい鑑賞会を4年ぶりに開催

6月25日、富郷町寒川山の下長瀬あじさい公園で、嶺南あじさい鑑賞会がありました。4年ぶりの開催に会場は家族連れや行楽客でにぎわい、あめごの塩焼きや軽食、窯焼きピザなどのバザーに行列ができていました。訪れた人は、遊歩道で彩り豊かなあじさいを楽しみ、歌謡ショーやカラオケ大会を満喫していました。

嶺南あじさい会の合田篤夫会長は「みなさんの協力で久々に開催できてうれしく思う。管理は大変な事も多いが、みなさんが楽しみにしてくれているのでずっと続けたい」と盛況に感慨深い様子。梅雨の風物詩として長く愛され続けている鑑賞会。大輪のあじさいとともに、地域の笑顔も咲く憩いのひとときとなりました。

無限の可能性を後押し 新宮小・中学校で公開授業



6月26日、紙製品の開発についての公開授業がありました。愛媛大学紙産業イノベーションセンター長の内村浩美教授を招き、紙幣の秘密や新しい紙の開発など、本市が誇る紙産業の貴重な内容に、児童は目を輝かせていました。



また28日には、ロボ教材を用いた参加型の公開授業があり、愛媛大学社会共創学部の子に教わりながらロボットを組み立て、プログラミングとレースを行いました。

自然の育みに心を通わせる 土居高校がもち米の田植えで交流



土居高校では毎年、食育の一環として農業を学ぶ生徒が、近くの小林保育園の園児と田植えや芋掘りなどの交流を行っています。

6月22日、この日を楽しみに同校近くの農場にやってきた園児たちは「こけんように気を付けてね」と声をかける高校生に手を引かれながら、恐る恐る田んぼに足を踏み入れました。



7月9日、しこちゅーホールでまちづくり活動に取り組む団体F our Cの設立20周年記念と市発足20周年イベントとして、歌手の南こうせつさんによるコンサートが開催されました。この日を待ち望んだ観客720人は、往年から近年までの楽曲の数々に、心を躍らせました。最後は、自身が作曲した本市イメージソング「未来へ続くまち」で四国中央少年少女合唱団と共演しました。



本市に関連会社がある株式会社マインドウェイブ(宮内俊治代表取締役社長・大阪市)から、企業版ふるさと納税を活用した100万円の寄附がありました。7月7日の感謝状贈呈式で篠原市長から感謝状が手渡されると、宮内社長は「地域のため、これからも継続できるように取り組みたい」と話しました。寄附は新宮地域のにぎわい創出などに活用されます。



記念すべき節目の年に 南こうせつコンサート

企業版ふるさと納税で寄附 (株)マインドウェイブに感謝状



6月28日、宇摩歯科医師会(野村信治会長)から、ひとり親家庭の支援として歯ブラシ240本が寄贈されました。2017年から始まった寄贈は、今年で7回目を数えます。贈呈式で野村会長は「歯磨きは親子のスキンシップ。会話を楽しみながらしてほしい」と明るく呼びかけました。歯ブラシは、市作成の説明書「歯の正しい磨き方」に添え、就学前の子どものいるひとり親家庭に配布されます。

歯磨きは「親子のスキンシップ」 宇摩歯科医師会から歯ブラシ寄贈

市長の ひとりごと



四国中央市長 篠原 実

7月の第一週、土地改良区の仕事で、中四国の代表者のみなさんと、参議院、財務省、農林水産省、自民党本部と二日間の日程で、陳情・要望活動を行ってきました。

山本順三参議院議員、水土里 ネット推薦の国会議員さんのご尽力をいただき、ハードな日程ではあったが、実のある活動ができたと思っている。

農業は非常に難しい局面がきている。愛媛県の役員さんだけでも議論がまとまらないときもある。まとめる方が無理な課題もある。食に関わることは、どんなにつらくても、どんなに苦しくても逃げて済むものではないと私は思っている。たいてい難しい問題も自分を捨てて、いわば悪者にしたら話はつくが、農業はそう言う訳

夏の暑さに負けないで 頑張ろう!!



水位を取り戻した富郷ダム(富郷町津根山)

今年夏、ダムの水がほぼ満杯になっている。大変ありがた。上水、工水、農水、水に関係されているみなさんに感謝である。

にはいかない。局面によっては一人で孤軍奮闘ということもある。いろんなところで、みんな頑張ってくれている。その議論が必ずどこかで、一歩前進になると信じて議論決裂だけは避けようと思っている。

毎年、夏は暑いし体がだるい。負けないように気合だけでも入れなおして頑張ろう!!